

News Release

2021年3月10日

がん対策推進企業アクションにおいて、「がん対策推進パートナー賞（検診部門）」を受賞

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上あいおい生命保険株式会社（社長：丹保 人重、以下「当社」）は、このたび厚生労働省委託事業である「がん対策推進企業アクション」*の令和2年度がん対策推進企業表彰において、「がん対策推進パートナー賞（検診部門）」を受賞しました。

*「がん対策推進企業アクション」

2009年度にスタートした、企業・団体とともに、がん検診受診率の50%以上への引き上げと、がんになっても働き続けられる社会の構築を目指す国家プロジェクト。

推進パートナー企業・団体数は2021年2月10日現在で3,516社、推進パートナーの従業員総数は790万人を超える。

本受賞は、がん対策推進企業アクションが、パートナー企業に対して行ったアンケートの回答内容を審査し、決定するものです。当社での健康診断におけるがん検診の取組みや受診率などが評価されました。

さる3月3日、東京・永田町の星陵会館にて表彰式が開催されました。

写真左：がん対策推進企業アクションアドバイザーボード議長・
東京大学医学部附属病院放射線科准教授 中川 恵一氏
右：当社人事総務部部長 喜多川 充



当社の健康診断は、法定項目に加え、35歳以上では人間ドックと遜色ない受診項目（例えば胃部X線やマンモグラフィなど）が含まれています。同項目の中のがん検診が組み込まれているため、社員のがんの早期発見、早期治療に役立っています。

<ご参考>

2019年度当社がん検診受診率（国の目標値：50%）

検診項目	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮頸がん
受診率(%)	91.8	98.6	95.8	95.3	84.8

※分母：肺がんは全社員、その他は35歳以上の社員

当社では、引き続き「社員の一人ひとりの心身の健康づくり」に取り組み、当社における『健康経営』を強力に推進してまいります。

以上